

公表

第59回技能五輪全国大会「配管」職種

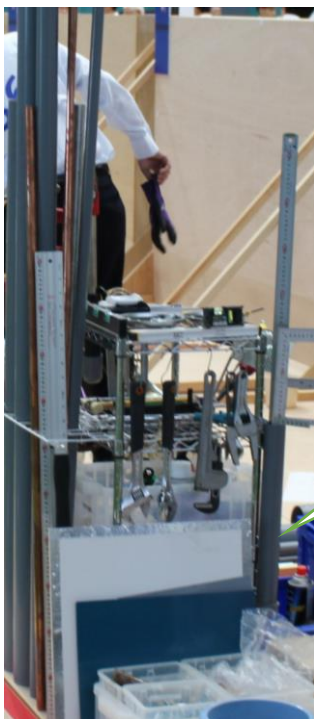
持参工具等一覧表（参考）に関する注意事項

- 持参工具・接合材料等は、課題製作に必要なもので、適正かつ安全なものとする。
 - 持参工具等一覧表は参考とし、適切な工具を選択して使用することも競技の一環とする。
 - 競技下見日の工具展開終了後は、新たな工具類は持ち込めない（充電式ドライバ・充電式作業灯の電池を除く）。競技開始後、競技場所（ブース）内に持参工具を持ち込む場合は、申告制とする。但し、減点の対象となる。
 - 持参工具の中で、型取りや採寸等の事前加工した治具、及び競技材料と混同し易い材料の持ち込みは不可とする。これに該当するかどうかは、競技下見日に競技委員による協議にて判断する。
- (1) トーチランプはガス用に限定し、ガスカートリッジは4本以内とする。また、着火は1台のみとする。
 - (2) アセチレン、酸素、LPGのボンベは、持ち込めない。
 - (3) パイプ万力の脚部安定用の金具等は、使用しても良い。但し、競技場所の床への直接固定は出来ない。
 - (4) 電動工具類は「充電式ドライバ・作業灯（電池式又は充電式）のみ使用可とする。他のものは持込不可とする。また、会場での充電は、出来ない。
 - (5) 治具、型板及び原寸図は、競技時間中に作成すること。
 - (6) 塩ビ管接着剤は、無色透明のものとする。
 - (7) シールテープと液状シール材との併用は出来ない。
 - (8) 水圧テスト器（手動式）は、公開水圧審査時に使用するので必ず持参すること。仕様は15GVへの接続用継手を含み、ゲージの最高目盛りは、2.5MPa以下とし、圧力計の径は75φ以上とする。
 - (9) ねじ切り用切削油の油受けとして油受けとして、新聞紙等の燃えやすいものは使用しないこと。

- (10) 水容器を持参してもよいが、指定された競技場所（ブース）内で使用すること。
- (11) 会場には「耐火レンガ」「耐火板」「バケツ」「合板（原寸図作成用）：約 910 mm×910 mm×4 mm」の準備がある。

(参考)

事例1 認められない工具棚の事例



支給材料と混同しやすい材料を
工具収納として使用している。

事例2 認められない治具の事例



R部を加工しやすいように事前に型板を加工している。

注) 下記はあくまで参考です。各自適切かつ安全な工具等を選定し持参してください。

区分	品名	
工具類	ハンマ	木づち、金づち、プラスチック
	やすり	銅管用、鋼管用
	面取り器	塩ビ管用、銅管用、鋼管用
	のこ	ビニル管用のこ、鋼管用金切りのこ（弓のこ）
	銅管カッタ	
	塩ビ管カッタ	
	はさみ	型板作成用
	トーチランプ	ガス用に限定する
	サイジングツール	銅管用
	レンチ類	モンキーレンチ、ラチェットレンチ（立てバンド取付け用）、モータレンチ、スパナ
	プライヤ	
	パイプ万力	
	手動式パイプねじ切り器	JIS管用テーパねじ用（カセット型も可）、SGP15A~20A用
	手動式パイプベンダー	
	パイプレンチ	
	立水栓取付レンチ	
	油さし	
	ドライバ	充電式可
きり		
銅管用研磨ブラシ	サンドペーパー・内外両面ブラシ	
工具棚		

接合材料	銅管用はんだ	
	フラックス	銅管はんだ用
	塩ビ管接着剤	塩ビ管接続用
	シールテープ	シールテープと液状シール材の同一箇所での併用はできない。
	液状シール材	
測定具他	墨つぼ	チョーク墨も含む。
	定規	直・曲尺、巻尺、折り尺、ノギス等
	製図用具	
	スコヤ	
	Vプロック	
	水平器・勾配器	
	水圧テスト器（手動式）	ゲージの最高目盛りは2.5MPa以下、圧力計の径は75φ以上とする。
その他	砂	
	亜鉛鉄板	型板作成用（その他の材質も可）
	筆記用具	原寸図作成用
	石筆・チョーク	
	着火用ライター等	
	霧吹き	
	防炎シート	壁養生用等
	小ほうき	ちりとり共
	木栓及びキャップ	銅管砂曲げ用
	ウエス	
	作業灯	電池式又は充電式